ＮＰＯ法人　ルワンダの教育を考える会ニュース　　発行　2016.4.1

ウムチョ　ムィーザ通信　No. ４３

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

現地 NGO「ADESOC」報告

２０１６年2月 16 日

ウムチョ ムィーザ学園　フランソワーズ校長より

皆さんこんにちは、お元気ですか？

この場をお借りして、2011 年 3 月東日本大震災により亡くなられた方のご冥福を祈ります。それから未だ被害を受けて避難している方々が一日も早く安心して暮らせることを祈ります。

ウムチョ ムィーザ学園を支えてくださっている皆様に私たち職員一同感謝申し上げます。

当学園の運営のために、経済的・技術的な支援を惜しまずに与えてくださっている日本の皆様の寛大なご協力に感謝申しあげます。それらの支援によって、貧しくて授業料を払うことが出来ない子ども達の教育に尽くすことが出来ました。

特に青年海外協力隊を当学園に派遣してくださっているＪＩＣＡ様の協力によって、幼稚園の子ども達が特別に日本の教育に触れることが出来ています。現在の協力隊員は４人目でこの学校に夢や希望を与えて下さっていることに感謝します。

昨年１１月６日に、卒業式と終業式を終了して、今年の２月２日新学期スタートまで、子ども達にとっては、長い長い休みが続きました。何故新学期開始が約１ヶ月近く遅くなったのでしょうか。それは、教育省の主催で新しいカリキュラムをまず各学校の代表教師を２週間合宿させて指導し、その後その教師を通して全教師に指導徹底するためでした。この結果、今年から新しいカリキュラムに沿って授業が行われます。子ども達にとってより良い授業になってほしいと願っております。

さて、昨年卒業した生徒達 22 名の国家試験が好成績であった事をご報告します。１００％中学校に進学することが出来ました。なかでも 19 名は公立の名門校に合格することが出来、３名は私立の中学校に進学しました。ここまで導くために、３学期の中間試験の結果が良くなくて、教師会でもそれが問題になって、教師も生徒も一生懸命努力しました。

悪い結果に諦めず、投げ出さず、先生も生徒も共に努力した結果、良い成績でした。やればできるんだという素晴らしい体験ができました。

2015 年は 286名で年度を終わり、今年度は 287 名でスタートしました。幼稚園児は３教室 55 名、小学校の児童は７教室 232 名です。校長・教頭・教師・調理員・警備員・用務員すべてのスタッフ 32 名で ADESOC のチャールズ理事長を先頭に、休まずに学校を発展させることに努力してまいります。

日本からの応援をいただいて子ども達の夢が社会人として実現できることを共に願いながら頑張っていきたいと思います。ご理解をいただければ幸いです。

ウムチョ ムィーザ学園の会計報告　２０１５年度３学期（８月１日～１２月３１日）

学費の納入状況の報告

＊２０１５／１２／３１現在時価換算による

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年		
100%	14	7	19	21	26	18	23	24	17	169	1,877,360
その他	2	9	4	6	4	8	5	4	2	44	216,430
0%	**6**	**4**	**3**	**9**	**25**	**12**	**6**	**5**	**3**	**73**	**0**
合　計	22	20	26	36	55	38	34	33	22	286	2,093,790
予算額											3,177,174
不足金額（日本からの支援額）											1,083,384

（1人あたり＝70,000ルワンダフランが約11，912円から約11,109円に換算）
完納が前学期149名から169名へ！0%が79名から73名！

２０１５年8月1日～１２月３１日会計報告

〔収入〕　〔支出〕　単位：円

項目	金額	項目	金額
学費（過年度回収分含む）	2,669,570	給料・手当	2,623,690
入学登録料	1,904	社会保険料	106,039
学校保険掛金	0	年金負担料	433,132
パソコン教室収入	**92,202**	**給食経費**	**315,359**
ピアノリース収入	**60,130**	光熱費	39,121
ユニホーム作成販売	**35,706**	通信費	41,502
ユニホーム作成室賃貸	**0**	印刷費	106,124
多目的室賃貸収入	**180,913**	旅費交通費	141,080
バス運行収入	**0**	会議・研修費	202,447
水販売収入	**4,328**	施設維持費	172,502
アンテナリース収入	**0**	外部監査料	104,342
その他の収入	3,396	医療保険料	180,761
給食費	26,978	緊急医療費	13,192
考える会からの支援	1,636,500	市税	30,946
個人寄付	56,337	備品	56,734
補助金	0	建設/リフォーム	54,044
繰越金	2,046,640	**奨学金/交際費**	**227,744**
個人からの返済	6,348	銀行手数料	26,126
		制服等消耗品	23,804
合計	6,820,952	合計	4,898,689
		残金	1,922,263

マリールイズは二月二十三日から三月十四日まで（学校全般の運営・給食プロジェクト委員会・健康診断プロジェクトの充実等）のために、ルワンダへ渡航していました。

卒業生からの手紙

ルワンダ　キガリ市　2016．2

マオンビ・サムエル

私は、ウムチョ　ムィーザ学園を卒業した中学２年生です。

６年生を卒業し、国家試験に合格しても親が貧しくて中学校に進学できずに困っている時に日本の皆様からの支援をいただき入学することが出来ました。

私の将来の夢は学校の先生になることです。ルワンダの子ども達の教育の発展のために私は働きたいと思っています。皆様のご支援に感謝しつつ頑張っていきます。

ルシバネ・オスカー

私は、２000 年１１月生まれの１５歳です。

小学校に行く年齢で入学しました。その後、母が病気になり父と４人兄弟の２番目として母の看病を精一杯しましたが、残念ながら天国に召されてしまいました。

それでもまだ母のいない生活を父の働きのおかげで楽しく送っていましたが、突然小学４年生の時に父が無職になり、人生が一転してしまいました。悲嘆に暮れていたときに日本からの支援により私と下の妹２人は勉強を続けることが出来ました。皆様に心から感謝します。2015 年小学校を無事一番の成績で卒業することが出来ました。周りの支援があったことで、自分も精一杯勉強することが出来ています。どんなに困ったことがあっても仲間の支えがあれば、努力をすれば夢に向かって前進することが出来ます。

ウムチョ　ムィーザ学園では、勉強以外にも国境を超えた趣味を持つことが出来ました。日本の方々の支援でパソコン・読書・スポーツ・音楽・美術・アウトドア等を経験することが出来ました。そして日本の方から教えていただいた折り紙も大好きです。

私の夢は自分の病院を持つことです。いつか一生懸命勉強して病気をやっつけるお医者さんになりたいと思いました。そうすることで、病気と闘っている人たちのお役にたてると思いました。

父の無職が続いていますが皆様の協力をこれからもよろしくお願いします。今は家から離れて公立の名門校である南の方のビィーマナサイエンススクールの中学１年生です。

てるちゃん日記

ルワンダでは「Izuba」（ルワンダ語で「太陽」）と呼ばれている照子さん（当会理事斎藤照子　2012年8月28日日本を出発し以後ルワンダ在住）の近況をお知らせします。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。

皆さん、こんにちは！お元気ですか？

今回は子ども達の様子にふれましょう。子ども達の行動を黙って見ていると、実に個性的で自由奔放、お行儀よくなどという言葉はそっちのけ。

早朝７時から始まる小学校の朝礼、７時４５分から始まる幼稚園の朝の集い。どの子もまっすぐ行儀よく並ぶのが苦手。しょっちゅうふざけたり、チョッカイだしたり。先生が注意すると、ニコッと笑って中止してもすぐ繰り返す。本当にすばしこく愛きょうたっぷりのしぐさに、つい注意を忘れて笑ってしまいます。

また、子ども達は実にたくましい。休み時間は勢いっぱいボール遊びや鬼ごっこで走りまわるのでよくケガをします。擦過傷が多く、ひどいのになるとピンク色の肉に砂が付いて血がダラダラ。ケガをすると、日本から取り寄せた救急箱のある音楽室に、すぐやって来ます。

消毒液で消毒してから薬をつけます。それがしみてとても痛いのに歯をくいしばって体をふるわせて我慢します。我慢できない時は涙をポロッとこぼします。最後にばんそうこうを張ると、安心したようにニコッとして「ムラコゼ」と言います。ばんそうこうのいらない小さな傷には、軟膏をぬります。それだけでは気に入らなくてばんそうこうをせがみます。ハサミで小さくカットしたものを張ると、喜んでおります。ワーワー泣く子などいなくて、処置がすむとすぐ走って遊びに行きます。

３０分間の休みの後の授業には、目いっぱい動き回った子ども達が、音楽室へ駈け込んで来ます。汗かきの子どもは頭も顔も汗だらけ。まず、タオルでふいてあげます。すると、汗をかいてない子どもも、頭や顔を指さして要求します。私は同じようにクルンクルンとふいてまわります。嬉しそうな顔を見てから、ピアノの合図で起立、礼をして授業を始めます。

女の子は、校庭に落ちている花を、プレゼントしてくれます。その花をピアノの上に置いて授業をします。何かとお手伝いをしたい子は、私が柔らかい布でピアノをふいていると、すぐ布をうばってふき始めます。

ピアノを何人かの子どもが好き勝手にガンガン叩くように弾いている時は、私が大きな声で「ストップ、ドントタッチ！」と言ってふたをしめます。すると小柄な男の子が、ピアノに張り付くように両手を広げてさわらないようカんでいます。なんと素朴で、オチャメで、すてきな子どもでしょう。

成績の良い悪いを抜きにして、このまま、まっすぐ育ってほしいと願わずにはおれません。

２月２６日には、初のスタディツアーで２０人ほどのお客様を、学校にお迎えします。校内や先生、子ども達の良い事も悪い事もありのままに、見てほしいと思います。私もツアーの一員として全行程を共にしますので、この事については、次回に報告できればと思います。

2016.2.3

「マリールイズと行く！　ルワンダ８日間の旅」

ルワンダの教育を考える会
事務局　山本　真左美

今回、２月 23 日～３月 1 日の日程で、大学生からシニアのみなさん、１９名の皆さんが全国からルワンダツアーにご参加、またキガリではイズーバ照子さんも合流されました。

私は、広島や岡山、そして四国の皆さんがマリールイズの講演を企画してくださる際、たびたび同行させていただく機会があります。そうした中、「ルワンダに行ってみたい！」と、おっしゃる方が多くいらっしゃいます。そこで、みなさんの熱い思いに、「思い切ってツアーを企画してみましょう！」とマリールイズと相談し、今回の企画に至りました。

ただの観光旅行にしたくないという思いもあり、ジェノサイドのことも深く知る機会、日本からの支援の一部を見せていただく機会、そしてウムチョムィーザ学園の子ども達や先生方、地域のみなさんと楽しく交流する機会などもしっかり盛り込んだ濃い内容のツアーになったと思います。

スケジュール通りに動かなかったことや途中バスの調子が悪くなったりとパプニングもありましたが、ご参加のみなさんが健康で過ごされ、参加者のみなさん同士のつながりができ、初対面の人同士がこうしてルワンダで同じ時を過ごせたことに感謝いたします。

本当にありがとうございました！！

現地スケジュール概要

1 日目	キガリ着
2 日目	アカゲラ国立公園へ
3 日目	ウムチョ ムィーザ学園訪問･地域の皆さんと交流など
4 日目	ジェノサイドメモリアル見学、証言を聞く
5 日目	コンゴ民主共和国国境へ
6 日目	ショッピングなど･帰国へ

＊＊＊

「浪江町からルワンダへ」

栃木県　管野　千代子

2011 年３月 12 日、東京電力の原発事故により、浪江町の自宅を出てから丸５年になります。2～3 日のつもりが二度と帰れなくなるとは誰が想像したでしょうか？　避難場所を転々とし那須塩原を終の住み家に決めました。

原発事故は豊かな浪江の自然を汚し、住民の平穏な生活、動物達の命を奪い、その後に発生する健康不安、家族の離散、町のコミュニティーの崩壊、生きがいの喪失等、多くの問題をかかえ、続行中です。帰町の毎に眼にするのは、除染作業と廃屋同然となった我が家で、自分の年齢を考えると帰町の意欲は遠のくばかりです。

そんな中で浪江町から避難された人たちの仮設住宅を毎月訪問し支援して下さるルイズさんに会いました。明るい笑顔、やさしい人柄、全国から集まるルイズファンを見て、自分もすっかりその魅力に引きこまれました。仮設の入居者の方々も歌って踊って楽しいひと時を過ごします。

しかし、20 年前の内戦を知り、国、町を追われた事実は私たちと同じく思われ、

今回のツアーに参加しました。ルワンダは内戦があったのかと思う程、美しい街並み、人々は活気づき、郊外に出ると素朴な生活が営まれ、緑が濃く絵葉書にしたくなる風景です。ウムチョ ムィーザ学園の子ども達も元気に走り回り、特にボールゲームが大好きでした。

でも、ジェノサイドメモリアルで内戦の状況や生きのびた人の話、頭蓋骨の展示に愕然となりました。人間は同じ人間を殺戮できる動物なのでしょうか。話す方も聞く方も涙なくしては聞けません。自分より何倍も身の危険に遭いながらルワンダの子ども達、浪江町を支援して下さるルイズさんに感謝です。

最後の日の朝、ルイズさんのお母様に会いました。涙を浮かべながら、「遠い所によく来たね。被災者がルワンダに来たのは、あなたが最初です。希望をもって生きなさい。」と言われ、思わず胸が熱くなりました。私にとって最大のプレゼントになり、ルワンダがとても近くなった気がします。

ルイズさんのご姉妹、ご親戚の方々、照子先生には大変お世話になりました。一緒に参加したツアーの皆様にも楽しくたくさんの事を学ばせて頂き、本当に有難うございました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「太陽のような人たちに！」

香川県　橋本　満菜

1994 年、ちょうど私が生まれた年にルワンダでは内戦の末、虐殺が起きました。出発前ルワンダについて、私が知っていたのはそれだけでした。内戦という悲しい過去を背負う国の「今」を自分の目で見てみたい。そう思ったのがこの旅に参加した大きな理由です。そしてルワンダで 6 日間を過ごし、たくさんの人に出会い、直接話を聞く中で、ルワンダの人々が悲しい過去を受け入れ乗り越えるために、平和を支える「人と人とのつながり」を大事にしているのだということに気付きました。これは日本にいる私たちも忘れてはいけないことだと思います。

また、私はルワンダで太陽のような人たちにたくさん出会いました。特に子どもたちの、勉強や手伝いに必死で励む姿、友達と思いきり遊ぶ様子、笑顔で私に手を差し伸べ、握ると強く握り返してくれる小さな手、そのどれもが私にとってとてもまぶしく、本当に大切な思い出となりました。そして地域や学校、家族が協力して生活を営む姿にルワンダのこれからの希望あふれる未来を感じました。

今回ルワンダを訪れて、ルワンダの人々の優しさの中に、様々な過去を乗り越える力強さを感じ、本当にルワンダのことが大好きになりました。ぜひたくさんの人にもっとルワンダのことを、自分自身の周りにいる人たちのことを知ってほしいと思います。本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

ルワンダ写真展

日時：2015 年 12 月 26 日（土）～12 月 28 日（月）
2016 年 1 月 4 日（月）～7 日（木）
場所：福島市　コラッセ１Ｆアトリウム

昨年の活動を中心に新たに写真パネルを作成、特に昨年から始まった給食プロジェクトや健康診断の様子は多くの方が興味深くご覧になっていました。

また、青年海外協力隊の帰国報告会は、２０１１年から２年間ウムチョ ムィーザ学園で幼稚園教師をされた佐々木伸江さん（熊本）が自身の学園での体験談やエピソードを披露。赴任時は時間厳守だったが、しだいにルワンダ時間に慣れて帰国近くは時間に対しアバウトになり催促電話がくることもあったとのお話は印象的でした。会場は福島駅近くで、電車利用のお客様もおり、大変盛況でした。

新年会（1月例会）

日時：2016 年 1 月 17 日（日）
場所：福島市　フォーズマーケット２Ｆ

福島市のメンバーに加え今回は郡山からも若いママさんたちがお子さん連れで参加、会場は終始にぎやかでした。また遠く静岡からも会の新年会に合わせて参加してくれた方がいらっしゃいました。

皆さんでいただいたルワンダ風スペシャルオムレツの味もまた格別！大変好評でした。食事終了後は今年の活動について話し合いました。ＪＩＣＡ草の根プロジェクト、フェリシモ基金の健康診断など今年も大忙しです。

フェリシモ基金 「子どもの健康プログラム２０１５」終了

昨年、フェリシモ基金の支援を受けて始まった「ルワンダ子どもの健康プログラム２０１５」が１年間の事業を終了しました。学園では、お昼を食べられない子どもがいるなど健康面で心配を抱えていましたが、このたびルワンダでは初めての子どもの健康診断を行いました。

最初に親たちを対象に健康診断についての説明会を開催しました。不安だった親たちも、実際に健康診断を行ってみて、皮膚病や心臓病の子どもが見つかり早期に治療を行うことができてとても喜んでいただきました。２２８名の子ども達の診断結果は治療を要する病気がある子どもが９６名（全体の４２％）に達し、いかに検査が必要かその重要性が理解されました。

そして、ＡＭＤＡ様のご協力により担当医師の日本国内研修も組み込んでいただき、岡山大学や福島医科大学、福島、伊達の病院研修も受けられました。帰国後はルワンダでの健康診断充実のために活躍が期待されます。

２０１６年もフェリシモ基金の支援を受けることが決定しました。引き続き学園の健康診断定着のため看護師の雇用と衛生面向上のための手洗い用水タンク設置を予定しています。これからは学園だけでなく地域にも衛生や健康についての意識向上の動きが広まることが期待されます。

（文責　事務局　阿部）

お知らせ

日頃より当会への活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。事務局では、総会に向けて 2015 年度決算・事業報告の準備作業を行っております。おかげさまで、ルイズの講演活動９０ヶ所、ルワンダＤＡＹや写真展などイベントを２２ヶ所、仮設住宅へのルワンダカフェ、そして初めてのルワンダツアー実施など例年に増して活動の幅を広げることが出来ました。総会では、これからの当会の行く道を決める重要な議案もございます。多くの方のご出席を宜しくお願い申し上げます。　（事務局）

総　会　　―　５月１４日（土）　場所：福島市働く婦人の家（予定）

〖主な議案〗
事業報告・決算・事業計画・予算案・役員改選
今回は特に「活動方針・会員制度・定款の見直し」など、
これからの活動に関わる重要な議案審議を予定しております。

当会発展のために多くの御意見をお寄せ下さい。

☆各種振替口座番号のご案内です！☆

会費振込･寄付･募金（奨学基金・ソーラー発電もよろしくお願いします。）

郵便振替口座：02290-0-97126
加 入 者 名 ：ＮＰＯ法人　ルワンダの教育を考える会

【ゆうちょ口座自動振込み寄付】　月一口５００円から
ホームページ掲載　目標１００名まで継続して募集します。*現在３９名登録*

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

―編集後記―

福島第一原発事故の収束はまだまだ見通せず、約 10 万人が避難生活を続けています。震災から6年目に入りました。星に癒され

太陽に元気づけられ、

今日も共に生きる！　T.S

NPO法人ルワンダの教育を考える会
理事長　永遠瑠マリールイズ

〒960-8055
福島県福島市野田町四丁目 8-20
ＴＥＬ／ＦＡＸ:024－533－8289
ホームページ:http://www.rwanda-npo.org
福島ｍａｉｌ　:info@rwanda-npo.org